

川西町新庁舎整備検討委員会  
第6回委員会 議事録

- 1 日 時 平成30年12月18日(火) 午後7時～午後8時55分
- 2 場 所 川西町中央公民館 大ホール
- 3 出席委員 10名
- 4 欠席委員 3名
- 5 町出席者 町長 事務局員4名
- 6 設計業者 株式会社 鈴木建築設計事務所 4名

1 開会

司会(事務局)による開会。

2 町長挨拶

今回は、前回から詰め残した部分についても、本日ご説明し、実施設計の最終案を検討してまいりたいと考えている。コストの関係上全てではないが、町の課題を最大限克服できるような実施設計の完成に向けて考慮していただいている。その原案を更に精査し、1月中に実施設計の完成、その後発注業務を進めながら入札の執行、今年度中に着工までたどり着きたいと考え、議会などにも説明をしている。

今回が最後の検討委員会ということになりますが、皆様からご意見を賜りながら、更にそれを盛り込んだ形で実施設計の完成に向けて進めていきたいと考えておりますので、よろしく願いしたい。

3 委員長挨拶

町長のお話にもあったが、最後の委員会ということになる。

今年1年を振り返ると、非常に大きな被害があった。また、県内でも多くの施設や道路等に被害がありました。新庁舎は、大きな災害が起こる前にできると思います。今回が最後になりますので、皆様から忌憚のない意見をいただきますよう、お願いしたい。

4 経過

事務局より、これまでの経過について説明。

5 報告

事務局及び鈴木設計より、第5回委員会(8/29)の議事録について報告。

(1) 3階の庁舎内のレイアウトについて

(鈴木設計)

3階のレイアウトについては、十分に検討し、使用頻度等を考慮した上で、今回の配置としている。

(2) 屋根東側の融雪、雪庇防止について

(鈴木設計)

3階屋根には雪庇防止として電熱ヒーターを設置し、大庇については、不

凍液を温めて循環させる無散水融雪を使用する設計としている。

(3) 駐車場の風対策について

(鈴木設計)

駐車場の風対策として、駐車する車の向きについて検討し、防風林として常緑樹のシラカシを設置する設計としている。

(4) 概算事業費について

(鈴木設計)

事業費について、現在、実施設計の積算中であり、総事業費の中で抑えたいと考えている。

(5) ICカード等の利用によるセキュリティの確保について

(鈴木設計)

セキュリティ対策として、ICカードを利用したセキュリティシステムを考えている。

(6) 集中豪雨、洪水等の水害対策について

・本庁舎

(鈴木設計)

本庁舎については、ハザードマップ等で周辺状況を確認し、庁舎の床面を道路面より高くしている。また、出入口以外の部分については、30cmのコンクリートの立ち上がりを設け、入口には止水板を設置できるように考えている。

・車庫・エネルギー棟

(鈴木設計)

車庫・エネルギー棟については、出入口の高さを15cm立ち上げ、さらに電気室、発電機室の床面を30cm高くしている。

(7) 屋上へのアンテナ等の設置による雪対策について

(鈴木設計)

屋上には、県防災用のアンテナや地域防災用のアンテナを設置するが、出来るだけ東側を避け、中央から西側に寄せて設置し、雪止めとならない様に配慮している。

(8) 庁舎南面のガラスについて

(鈴木設計)

庁舎南面のガラスは、アルゴンガス入りのペアガラスを設置し、高断熱とする設計としている。

(9) 地下水無散水融雪について

(鈴木設計)

地下水無散水融雪については、12月4日(火)に試験井戸を掘り、揚水試験を行った結果、水量、水温とも融雪可能だと判断している。

(10) 太陽光発電設備について

(鈴木設計)

環境への配慮など総合的に考え太陽光発電を導入することとし、ソーラーパネルは雪を避けるために南側及び東側の外壁面に設置し、主に駐車場の外灯に利用するように設計している。

(11) 駐車場の外灯について

(鈴木設計)

駐車場の外灯については、照度と配置を十分検討し、敷地周辺部と玄関付近のバッファゾーンに外灯を外構工事で設置する想定をしている。

6 説明及び協議

(1) 川西町役場新庁舎整備実施設計の進捗状況について

配付資料「実施設計報告（会議後回収）」に基づき、鈴木建築設計事務所及び事務局が説明

【協議内容】

(委員)

来庁者が自由に出入りできるスペースについて教えてほしい。

(事務局)

基本的に来庁者と職員の動線を分けている。1階から3階まで、主に南側のスペースが利用できる。また、会議等に参加される場合は、会議室も利用でき、議会中であれば傍聴席に入ることができる。

(委員)

現在中央公民館で行っているような会議等は、どういったところを使用するのか。

(事務局)

役場主催の会議は、役場内の会議室で行う。しかし、住民の方のみの会議やサークル等での使用は、役場内の会議室を使用させることは想定していない。

(委員)

屋上への階段は常に閉鎖しているのか。また、屋上の除雪をする場合は人力になるのか。

(事務局)

基本的には屋上への階段は、屋上のメンテナンス用の階段ということで、自由な出入りは想定していない。作業や工事の際に使用する階段としている。

(鈴木設計)

除雪については、最終的には人力で行うことになる。

構造上2mの堆雪を想定しているので、それ以上積もった場合は、そういった対応が必要になる。

(委員)

駐車場に堆雪するスペースは、東側のスペースになるのか。

(事務局)

駐車場の除雪については、東側に堆雪することを計画している。

基本的には、町の敷地の中で堆雪し、排雪するということを考えているが、町民の方々に迷惑のかからない計画としていきたい。

(委員)

夜間に駐車場への車の出入りが考えられるが、その場合の対策について教えてほしい。

(事務局)

今後は、降雪期は朝の除雪の邪魔にならないような運用を考えていかなければならない。

夜間の会議以外の場合は、夜間の駐車を遠慮していただくというような運用を今後具体的に関係課と協議し、お知らせしなければいけないと思っている。

(委員)

駐車場の照明は、隅々まで明るくなることを想定しての設計か。

(鈴木設計)

外灯については、車の操作や運転に支障がないような設計としている。

また、回廊側にも照明を設置するので、夜間の会議等で役場を訪れる際に、足元が暗いということがないような、照度計画としている。

(委員)

耐震や洪水対策、雪対策について、しっかり考えておられて安心している。格好も良く、出来上がるのが楽しみである。

庁舎の模型のように、今後の進捗状況についても町民の方々に情報を出していったほうが良い。

(事務局)

今後、実施設計が完成し、現場が動いてくることについては、節目で町報やホームページ等で町民の方々に進捗状況をお知らせしながら、その都度ご意見をいただき、丁寧に説明をして進めさせていただくので、よろしく願いしたい。

(委員)

1階、2階の執務空間の空調の配管と、電気系統の配線の配置はどのようになっているのか。同じ空間に空調の空気が吹き出すことで、電気系統の配線に問題はないのか。

(鈴木設計)

吹き出す温度が夏冬の冷暖房とほぼ同じ温度になっているので、電気系統の

配線には特段の影響はないと考えている。

(委員)

そうすると、冷えたり暖まったりするには時間がかかるのか。その場合、職員の方が、朝来た際に寒いということはないのか。

(鈴木設計)

床を冷やしたり暖めたりするには、若干時間がかかると思う。職員の職場環境については、事前にプログラムを組み、来る前に暖まるような運用にさせていただくような設計としている。

(委員)

1階東側の相談室が執務空間に入っているのではないかと。入っているとすれば、セキュリティ上問題があるので、万全にしていきたい。

(事務局)

東側の相談室については、夜間等については施錠をし、住民の方が中には入れないという想定をしている。

(委員)

セキュリティエリアを区切るものは、どういったものを考えているのか。

(事務局)

基本的には、扉やシャッターで区切る想定をしている。職員については、ICカードで出入りができるセキュリティを考えている。

(委員)

執務室内は見えないのか。

(事務局)

夜間のセキュリティエリアからは、執務室内は見えない。

(委員)

庁舎北側の車庫・エネルギー棟との間には外灯はつかないのか。

(鈴木設計)

建物壁面にブラケットライトという外灯を設置する想定である。また、回廊部分の外壁にも外灯の設置を考えている。

(委員)

屋上のトップライトについて、雪の対策は十分なのか。

(鈴木設計)

トップライトの最上部に雪が被らないように、2mの高さで考えている。雪対策は万全にしていきたい。

(委員)

現在の社会情勢で電子マネー化が始まっているが、新庁舎での対応は考えているか。

(事務局)

現在、役場の中で電子マネー決済についての議論まで至っていないのが現状である。今後、そういった機能が入ってくることは想定されるので、配管やLANケーブル等の設置をし、様々なことに対応できる庁舎にしたいと考えている。

今後の検討課題として考えていきたい。

(委員)

地下ピットは、北側に延びて車庫・エネルギー棟と繋がっているという理解で良いか。

また、本体は東西にピットが入っているのか。高さはどの程度か。

(鈴木設計)

どちらもその通りである。一部トイレの関係で、南側に入っている。

高さは、有効で1.7m～1.8mとなっている。

(委員)

点字ブロックについてはどのように計画しているのか。

(鈴木設計)

山形県みんなにやさしいまちづくり条例や、バリアフリー新法に基づき、敷地入口から玄関、風除室から総合案内、階段に設置することを考えている。

(委員)

別の市町村では、議会傍聴の関係で、議場まで点字ブロックを敷いたという例もあった。1階だけでなく、エレベーターの乗り口等、2階も3階も十分に配慮していただきたい。

(事務局)

ご指摘の通り、今後、ユニバーサルの計画の中で、どのようなところに設置していくか、担当課との協議も含め十分に検討し、関係団体の方のご意見をいただきながら、最終的に仕上げていきたい。

(委員)

屋上への出入口の扉の形状はどのようなものか。

(鈴木設計)

扉のところは垂直になっているので、内開きの扉を想定している。

(委員)

3階は執務スペースがなく人目につかず、何かされることも考えられるので、

ある程度、防犯カメラ等の対策が必要だと思う。

(事務局)

ご指摘の通り、3階に職員は議会事務局しかおらず、死角となるところが出てくるので、危機管理対策として、必要などころには防犯カメラを設置し、夜間についても、警備員室のモニターで確認できるという計画を考えている。

屋外についても、役場正面や回廊空間等、防犯カメラの設置等によりセキュリティに十分配慮した設計としていきたい。

(委員)

防災倉庫については、災害等が発生した場合に使用することになると思うが、停電した場合でも照明は点くのか。

また、シャッターについても、非常時に常人が開けられるような設計になっているのか。

(鈴木設計)

防災倉庫周辺に限らず、外灯については太陽光発電と蓄電池を用いて、非常時でも照明が点くように考えている。

シャッターについては、現在手動式のシャッターを想定している。構造についても、単純な構造としたい。

(委員)

今までの説明を聞き、庁舎はシェルターのように丈夫な建物と考えて良いか。どんな災害にも耐えられるのか。

(鈴木設計)

ほとんどの自然災害や火災等に耐えられる防災庁舎と考えて良い。

(委員)

待合空間での議会の傍聴は可能か。

(事務局)

待合空間に、テレビ兼用のディスプレイを設置することを考えているので、議会中継を放映することは可能である。

役場に来られた方は議会中継を視聴できるような環境を整えていきたい。

(委員)

電子マネーにならざるを得ない状況になっていくことが考えられるが、役場に電子マネー決済の機能があれば良いのではないか。

(事務局)

電子マネーについてはご指摘の通り。今後、役場全体の課題として議論や検討を進めていきたい。

(町長)

今後、電子マネー決済は進むと考えられるが、その機器自体はそれ程大きなものではなく、配線で対応できると思う。基本的には、多くの方が利用している口座引き落としを、継続していただくことが大前提になると思う。

利便性ということもありますので、検討させていただきたい。

(委員)

新庁舎にATMは設置されないのか。

(事務局)

庁舎内部への設置は想定していない。ただし、敷地西側に独立したATMを1つ設置する予定である。

(委員)

車庫・エネルギー棟のところにある、保存文書の書庫について、書棚を置くイメージなのか。

(事務局)

移動書架の設置を想定している。

(委員)

喫煙所についてはどのように考えているのか。

(事務局)

来庁者や職員が使用できる喫煙所は、受動喫煙に十分に配慮し、単独の建物で防災倉庫の西側に設置する予定である。

(2) その他

特になし。

## 6 その他

(町長)

委員の皆さんには、昨年からの新庁舎整備に向けて貴重なご意見をいただき、ようやく全体計画の8割、9割まで来たと思っている。先ほどもあったように、今後、スマートな事務処理ということも出で来るとは思うが、現行を最低限維持できるような空間を確保していく。使い勝手の良い庁舎にしていきたいと考えている。

時代が変わっても、町民の皆さんの財産として活用されるものを作っていきたいと考えておりますので、今後ともご支援いただきたい。

事務局から、平成31年1月中に実施設計を完成させる予定である旨を説明。

## 7 閉会

司会(事務局)による閉会。